

令和8年度都立福生高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	・「書くこと」の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認 ・授業時における記述問題の反復指導 ・教科担当者による原稿用紙の使い方指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部団体による小論文模試の実施 ・志望理由書の外部添削の実施 ・一台端末を活用した演習
地歴・公民	「主体的に考察し課題解決を図る」力を醸成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な資料・文章を適切に読み取り、自身の考えを表現する課題を実施する。 ・幅広い知識を身につけ、自身の考えを持ち客観的に分析し説明・議論する能力醸成。 ・社会全般の出来事を知り、授業との繋がりを具体的に理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的課題に対する「個人意見発表」から多様な意見を考察する「ディベート」を取り入れる授業の実施。 ・「ビブリオバトル」「シネフィルバトル」等の実施を検討していく。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・数学的な見方 ・考え方を働かせた数学的活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・事象を数学的に捉え、数学の問題を見いだせる教材の開発 ・問題解決の過程において、論理的に考察する活動を重視した授業を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度の評価を取り入れた授業の実施
理科	学びに向かう力の育成	実験で仮説検証を行い、思考力と表現力を育成する。小テストや演習を通じて基礎基本の定着を図る。	Teams等を活用し、自ら学びに向かう環境を整備する。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
芸術	アウトプットの機会の充実	生徒の作品を展示や発表する機会を積極的に設けることで、自己表現の場、科目を超えたより幅広い視野の育成の場を提供	<ul style="list-style-type: none"> ・校内展示 ・校内発表 ・異校種での発表 ・ClassiコンテンツボックスやTeamsなどを活用し、グループ練習やクラウド上での作品発表・共有
英語	「話すこと」の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・各科目、学期に2回パフォーマンステストを実施 ・ICTを活用し家庭学習を促進（TEAMS音読機能） ・GELPを使用した個別最適な学習環境の整備 ・授業内でJETとのやりとりを促進する教材の開発 ・4技能バランスのよい指導の実践 ・GTECや英検などの形式の問題演習 	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹校（横浜ハイスクール、リセ・ヴォルテール校）との交流の促進による外国語（英語・フランス語）学習意欲の促進 ・オンライン英会話 ・TGGでの体験学習 ・プリティッシュヒルズでの英語研修 ・海外（韓国）修学旅行時の交流
家庭	ライフステージに応じた生活知識の習得	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージの段階について理解する ・ライフステージごとの衣食住の知識や発達課題を学ぶ 	実習を通して体験的に理解する
情報	必修・選択科目の充実	情報理論、統計、プログラミング、デザインなど座学・実習の充実	発展問題の演習 各分野の作品制作